

とうえい明神クラブ（老人クラブ）との意見交換会について

平成30年9月13日（木）に、とうえい明神クラブ（老人クラブ）の伊藤勝会長をはじめ6名の役員の皆さんが、役場町長室にお見えになり、町長に活動報告を行い、続いて今後の計画や町への要望などについて意見交換会を行いました。

※クラブから提出いただいた、今後の計画及び要望書

とうえい明神クラブ今後の計画及び町への要望について

今後の方針

会員は、小さな単位「向こう3軒両隣」を形成し、自主的に下記の6活動を行う。

単位クラブは、会員が活動を行えるよう必要な情報の提供及び支援を行う。

とうえい明神クラブは、単位クラブが活動できるように支援していく。

記

1. 友愛活動について

(1) 会員は、小さな単位「向こう3軒両隣」でお互いに連絡を取り合い、安否確認を行う。

(2) 緊急連絡先を交換しておく。（何かあった時に連絡が取れる子供たちの携帯等）

2. 生活支援活動について

(1) 会員は、友愛活動を行う中で、発生した生活課題・問題に対して出来る限り支援を行う。

(2) 会員は、解決が困難な課題・問題に対して所属単位クラブに報告、支援の要請をする。

(3) 会員は、生活課題・問題が発生した場合、速やかに所属単位クラブや関係機関等に連絡・報告をする。

3. 清掃・奉仕・環境活動について

(1) 社会奉仕の日を中心に地域の美化活動を引き続き行う。

(2) 廃校利用を含めて、地域資源の活用を積極的に行う。

4. 文化・学習サークル活動について

(1) 新たな行事を行い、クラブの活動を活発にする。(カラオケ大会など)

(2) 小さな単位「向こう3軒両隣」で、行事の参加を呼びかけ合い社会参加を促す。

5. スポーツサークル活動について

(1) これまでの大会を継続していく。

(2) 各地区で声を掛け合い、練習を活発に行う。

6. 安全活動について

(1) 老人クラブでスローガンを作成し、交通安全宣言を行い、実施していく。

7. その他

(1) 毎年、会員増を目指し広報活動を強化する。

【町への要望】

1. 生活支援活動について

活動を行っていく中で、個人情報取り扱い、個人宅へ訪問などクラブ単体では問題がある。包括ケアシステムの団体として活動する上で町から支援が不可欠となる。今後の活動支援を下記のとおり要望いたします。

(要望)

(1) 生活支援事業に、明神クラブが参画出来るよう働きかけていただきたい。

(2) 生活支援活動が、スムーズに行えるよう行政・社協などの関係機関と連携をして必要な講座や研修会を開催していただきたい。

2. 大治町との交流事業について

今年度から、友好自治体である大治町の老人クラブと友愛活動の一環で交流会を行っている。2町で交互に会場を設け、受け入れをする。来年度は、会場が東栄町になる。東栄町のPRも行いたいと考えているので町の支援を頂きたい。

◇約2時間にわたり、要望事項を中心に役員の皆さんと意見を交換いたしました。生活支援活動については、今後行政、各種団体等と定期的な会議を開催し、意見交換を行うことを確認しました。必要な講座や研修会を開催してまいります。

大治町との交流につきましては、本年度は大治町で交流会を開催されました。来年度は東栄町での開催となりますので、計画をする段階で、しっかりと協力させていただくことをお約束いたしました。

老人クラブとの意見交換会は今年で2回目となりますが、今後もしっかりとこのような機会も含め、皆さんと意思疎通を図ってまいりたいと思っています。

とうえい明神（老人）クラブの益々の発展をご祈念申し上げます。

平成30年9月14日

東栄町長 村上孝治

